

授業科目 韓国語Ⅱ

【担当教員名】 林河運	対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・競技・栄養・薬・社会・看護
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】  
 ハングル文字の仕組みを理解した上で、初歩的な文法を習得しつつ、基本的な短文と日常生活でよく使う文型を反復練習し、簡単な日常韓国語ができるよう、学習する。

- 【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】
- 1 ハングル文字が読める。
  - 2 簡単な韓国語の文章が理解できる。
  - 3 簡単な日常韓国語が聞き取れる。
  - 4 簡単な日常韓国語が話せる（簡単な買い物ができるよう）。
  - 5 韓国ドラマを通じて韓国の文化についても学習する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	挨拶のことば 覚えておきたい挨拶ことばを学ぶ。		講義と演習
2	体言の丁寧形 「～です」・「～ですか?」という文型を学ぶ。		講義と演習
3	体言の否定形 「～ではありません」という文型を学ぶ。		講義と演習
4	助詞<主題、添加> 「～は」・「～も」を学ぶ。		講義と演習
5	人称代名詞 私・私たちなどを学ぶ。		講義と演習
6	指示代名詞と指示形連体詞 これ・ここ・このを学ぶ。		講義と演習
7	助詞<所有> 「～の」を学ぶ。		講義と演習
8	助詞<主格、場所> 「～が」・「～に」を学ぶ。		講義と演習
9	助詞<並列>と位置関係のことば 「～と」・「上」・「東」を学ぶ。		講義と演習
10	助詞<目的>と用言の丁寧形 「～を」・「～ます、です/～ますか?ですか?」を学ぶ。		講義と演習
11	用言の否定形と助詞<目的地(移動)> 「～ません、くありません」・「～に」を学ぶ。		講義と演習
12	助詞<場所、手段> 「～で<場所>」・「で<手段>」を学ぶ。		講義と演習
13	助詞<比較、方向、共同> 「～より」・「～へ」・「～と」を学ぶ。		講義と演習
14	韓国の数詞 漢数詞と固有数詞を学ぶ。		講義と演習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料	適宜ハンドアウトを配布する			

【評価方法】 出席・授業中の態度・定期試験などから総合的に判断する。

【履修上の留意点】 韓国語Ⅰを履修していることが条件となる